

**「国際共同研究『潜在成長力の強化と経済の活性化に向けた課題』
(経済の活性化：我が国企業と家計が直面する構造的な構造) 報告会の概要
(平成 30 年 10 月開催)**

開 会

主催者挨拶：西崎 文平 内閣府経済社会総合研究所長
主査挨拶：塩路 悦朗 一橋大学大学院経済学研究科教授

セッション1 「高齢者の遺産動機と貯蓄行動：日本の個票データを用いた実証分析」

発表者：濱秋 純哉 法政大学比較経済研究所准教授
堀 雅博 一橋大学国際・公共政策大学院教授
討論者：新見 陽子 公益財団法人アジア成長研究所准教授

セッション2 「Abenomics, the Housing Market, and Consumption」

発表者：宇南山 卓 一橋大学経済研究所准教授
Joshua K. HAUSMAN ミシガン大学公共政策大学院助教授
Johannes F. WIELAND カリフォルニア大学サンディエゴ校助教授
討論者：Charles Yuji HORIOKA 公益財団法人アジア成長研究所副所長

セッション3 「堅調な企業収益と低調な設備投資のパズル」

発表者：田中 賢治 日本政策投資銀行設備投資研究所副所長
討論者：小川 一夫 関西外国語大学外国語学部教授

セッション4 「日本企業の海外企業買収と事業パフォーマンス」

発表者：鯉淵 賢 中央大学商学部教授
後藤 瑞貴 一橋大学大学院経済学研究科修士課程
討論者：花崎 正晴 一橋大学商学研究科教授

セッション5 「Cash Holdings: Evidence from Firm-Level Big Data in Japan」

発表者：細野 薫 学習院大学経済学部経済学科教授
宮川 大介 一橋大学大学院経営管理研究科准教授
滝澤 美帆 学習院大学経済学部経済学科教授
討論者：小野 有人 中央大学商学部教授

セッション6 「Firm-level Uncertainty and Cash Holding: Theory and Firm-level Empirical Evidence」

発表者：千賀 達朗 ロンドン大学クイーンメアリー校講師
討論者：大津 敬介 慶應義塾大学商学部准教授

講 評 塩路 悦朗 一橋大学大学院経済学研究科教授

閉 会 西崎 文平 内閣府経済社会総合研究所長

※ここに記載している発表者らの肩書きは、報告会開催当時のものである。

経済社会総合研究所の概要

経済社会総合研究所 (Economic and Social Research Institute: 以下 ESRI という) は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して 2001 年 1 月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRI は内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRI の主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP (国内総生産) 統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系(SNA: System of National Accounts) の推計作業を行い、四半期毎の GDP 速報 (QE: Quarterly Estimates)、年度毎の確報を公表、さらには、CI (景気動向指数) 等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。